

会議録

会議の名称	第4回あま市スポーツ推進計画策定委員会
開催日時	令和4年8月3日(水) 午前10時から
開催場所	七宝総合体育館 1階 ミーティング室
内容	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) あま市スポーツ推進計画素案について 4 その他 5 閉会
資料	・次第 ・【資料1】あま市スポーツ推進計画(素案) ・【資料2】あま市スポーツ推進計画の体系 ・ヒアリング団体・質問項目 ・スポーツ推進計画策定委員会委員名簿
出席委員	新井 忠委員長、石塚建伸副委員長、石塚吾歩路委員、 川寄寛継委員、井上克己委員、安江利成委員、石黒 孝委員、 溝口由紀江委員、栗林友美委員、居附一夫委員 (委員名簿順)
欠席委員	なし
事務局	(教育委員会) 松永裕和教育長、鎌倉崇志教育部長 (教育部スポーツ課) 大堀俊和課長、水野晃寛課長補佐、山内厚睦主査

会議の経過

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) あま市スポーツ推進計画素案について

資料1「あま市スポーツ推進計画（素案）」、資料2「あま市スポーツ推進計画の体系」、「ヒアリング団体・質問項目」により事務局から説明

【質疑応答】

委員：中学校の部活移行を含めて、子どもたちにスポーツに関わらせる機会を作っていくことが重要だが、一方では指導者不足や、部活動としての資質の向上が大切。指導者の登録制度のようなものを創成する考えはあるか。

事務局：今後、中学校の部活を地域で支えることになった場合、認定や登録制度を設け、指導者の水準を一定に保つ取り組みを考えなければいけない。今後、検討させていただく。

委員長：個人情報保護法の施行以降、人材バンクの取扱いが極めて難しい。ただし、部活動の地域移行という視点から見ると、部活動は学校教育の一環として行われるものとされており、単なるスポーツの指導だけではなく、学校教育の一環として求められる資質がある。マッチングの実像をきちんとイメージできるような形で登録制度を作っていくのが現実的。

委員：43ページの基本目標4「利用しやすい施設・情報環境の整備」の施策内容①「スポーツ施設の整備・改修」について、記載内容が段々弱くなっている。長期的な目標なので、整備をしていくとしっかり記載してほしい。

事務局：少子化が進み、人口減少する中、市全体の計画の中では公共施設数を少なくしていく方向性にある。また、競技人口が少ないマイナースポーツの競技環境もどう整えるかも重要。それらも踏まえながら今後の整備方針等を検討し、できるだけ記載したい。

委員：2ページの「スポーツの定義」には、体操・運動という記載があり、スポーツの中に運動が含まれていると定義されているが、別の記載では並列してあったり、運動だけ書いてあったりして整合性がないので、整理をしてほしい。

また、1ページの「計画策定の趣旨・目的」に、「する」「みる」「ささえる」と記載があるが、「みる」という部分がどこにも記載されてない。

事務局：38ページの基本目標2「スポーツによるまちづくり」の中で、地域で大きなスポーツイベントを開催したり、試合を誘致して見ていただくと記載しており、それらが「みる」活動の一環と考えている。パブリックビューイングなど、具体的に「みる」ということを記載できていないが、国の内容を捉えて、追加できる部分があれば、追加していく。

委員：同ページ、基本目標2「スポーツによるまちづくり」の中で、プロスポーツの試合や大規模なイベントの開催と記載があるが、プロスポーツの試合などを誘致できる施設があるのか。また、どのスポーツ施設も非常に老朽化しており、施設の解体や新設の計画はあるのか。

事務局：現状、甚目寺総合体育館で、バスケットボールのBリーグの試合を年に3回程行っている。市全体の公共施設再配置計画の中では、どの施設がいつ解体され、新しい複合的な施設ができるという位置づけはあるが、時期や規模などの具体的な計画がまだない。

委員：団体ヒアリングの結果は、公表するのか。特に中学校部活動の地域移行について、ルネサンスや豊田合成のように心強い企業もあり、気になるところ。

事務局：公表できる部分については公表し、計画の中にも具体的に入れていく。

4 その他

第5回あま市スポーツ推進計画策定委員会

日時：令和4年11月4日（金）午後3時から（予定）

場所：七宝総合体育館 1階 ミーティング室

5 閉会